

I 研究主題名：

主体的に自分の考えや気持ちを表現できる児童の育成

～外国語を用いたコミュニケーションを楽しむ活動の工夫を通して～

II 研究主題設定の理由

これまでの外国語活動・外国語科の授業を通して、本校の児童は、積極的に英語表現を発話したり、基本的な表現を使って質問したり答えたりすることができるようになってきた。その一方で、外国語によるコミュニケーションへの意識が低く、自分の考えや気持ちを表現することに苦手意識を持つ児童やコミュニケーションをとること自体を楽しむことができていない児童がいる。そこで、外国語活動・外国語科において、教師が外国語を用いたコミュニケーションを楽しむ活動を工夫することで、児童がコミュニケーションの楽しさや大切さを実感し、主体的に自分の考えや気持ちを表現できるようになるのではないかと考え、本テーマを設定した。

II 学年・領域

高学年では「One World Smiles」、中学年では「Let's try」、各出版社から出されている年間指導計画を基に指導を進める。低学年では、市から提供されている年間計画を基に指導を進める。

低学年の指導内容

- ・あいさつ、自己紹介
- ・天気、曜日、数
- ・果物や野菜
- ・体の部位
- ・気持ち
- ・色や形
- ・動物や昆虫
- ・行事

中学年 Let's Try!1,2



高学年 One World Smiles5,6



V 各学年の取り組み

1 1学年の取り組み (Topic: 「曜日の言い方にふれよう」「昆虫の名前に触れよう」)

ミッシングゲームやタッチングゲームで、ジェスチャーしながら発声する練習をすることで曜日の言い方を覚えた(写真1)。また、「昆虫の名前にふれよう」においても、ジェスチャーしながら発声練習をすることで昆虫の名前を思えることができた。覚えた昆虫の名前を使ったゲームでは、友達同士で教え合い、楽しんで学習することができた。(写真2)



写真1 「曜日の言い方にふれよう」



写真2 「昆虫の名前にふれよう」

2 2学年の取り組み (Topic: 「What animal do you like? 」)

“What animal do you like?” の表現を用いて、友達好きな動物をたずねる活動をゴールに設定した。ゲームや歌を通して、楽しみながら動物の表現をインプットできるように活動を進めた (写真1)。動物の英語表現をインプットした後、教師と児童、児童と児童のやり取りで “What animal do you like?” “I like ~.” とアウトプットを繰り返し、表現の定着を図った (写真2)。



3 3学年の取り組み (Let's Try 1 Unit 5 「What do you like? 何が好き?」)

Unit 5 「What do you like? 何が好き?」では、好きなものについて相手に伝わるように工夫して聞いたり、答えたりする学習に取り組んだ。Unit の導入で、”Do you like ○○?”の表現を使って尋ねたり、”I like ○○./I don't like ○○.”と答えたりして練習した (写真1)。またゲームを通して、”What ○○ do you like?”のフレーズを繰り返しインプット&アウトプットして定着を図った。”What ○○ do you like?”の表現を使って、フルーツ、カラー、スポーツなど友達と好きなものを尋ね合う活動を行うことができた (写真2)。



4 4学年の取り組み (Let's try2 Unit7 「What do you want? ほしいものは何かな?」)

Unit 7 「What do you want? ほしいものは何かな?」の学習では、お互いの欲しいものについて尋ね合う活動において、相手に伝わるように工夫して答えたり、欲しいものを聞いたりする学習に取り組んだ。本単元のように、ゴールを「〇〇さんのためにピザを作ろう」と明確にすることで、児童が相手意識や目的意識をもって活動できるようになってきた。Unitの導入で、「Do you like 〇〇?」の表現を使った尋ねたり、「I like 〇〇./I don't like 〇〇.」と答えたりして練習した。またゲームを通して、「What 〇〇 do you want?」のフレーズを繰り返しインプット&アウトプットして定着を図った(写真1、2)。「What 〇〇 do you want?」の表現を使って、フルーツ、野菜など友達と欲しいものを尋ね合う活動を行うことができた。



写真1 活動の様子①



写真2 活動の様子②

5 5学年の取り組み (Lesson 8 「Where is the station?目的地への行き方を伝えよう」)

自分の町のオリジナルマップを作って、友達同士互いの家の場所を尋ねて行き方を伝え合う活動を単元のゴールに設定した。デジタル教材のLet's watchの動画やそれと連動したSay It Togetherを活用し、帯活動で毎時間繰り返しインプット&アウトプットすることで表現の定着を図った。また、学校や町の地図を使って、目的地への行き方を尋ね合う活動を単元の後半に設定することで、どうにかして友達に伝える体験的な活動を繰り返し実施した。Final Activityでは、オリジナルマップをそれぞれ作成して、互いの居場所から自分の家までどのように道案内をするか考えながら活動することができた(写真1)。また、案内する側は相手の進行状況を確認しながら指示を出すようにし、聞く側は相手の言ったことをリピートして確認しながら進んでいこう、相手意識・目的意識をもって活動に取り組むことができた(写真2)。



写真1 ペアトークの様子①



写真2 ペアトークの様子②

6 6学年の取り組み

(1) 単元名 Welcome to Japan. 好きな日本の文化 (教育出版『One World Smiles 6』Lesson 3)

(2) 単元の目標

- ① 日本の行事や食べ物、味の表現を、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ② 日本の文化を紹介する表現を知って、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ③ ポスターをつかって、好きな日本の文化を紹介することができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ④ 日本の文化をわかりやすく伝えようとしたり、さまざまな文化について知ろうとしたりする。(学びに向かう力、人間性等)

(3) 単元の評価規準 ◎中心領域「話すこと(やり取り)」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><知識>行事や食べ物, 食べ物の味(sweet, sour など) や感想(It's exciting. など)の言い方や, 日本について好きなことを尋ねたり(What do you like about Japan?), 答えたりする言い方を理解している。</p> <p><技能>日本文化の気に入っていることについて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>日本の文化を紹介するために、日本の行事や食べ物などについて、簡単な語句や基本的表現を用いて、伝え合っている。</p>	<p>日本の文化を紹介するために、様々な文化について知ろうとしたり、日本に行事や食べ物について、相手にわかりやすく伝え合おうとしている。</p>

(4) 単元の指導計画・評価計画 (全7時間)

時間	ねらい	◇めあて・学習活動	評価規準			評価方法
			知 技	思 判 表	主	
1	日本の文化や行事について知り、使われている英語表現にふれる。	◇日本の文化について知ろう。 ・好きな日本の文化について尋ね合う。	○			行動観察
2	日本の食べ物について使われている英語表現や味覚に関する表現を知る。	◇好きな日本の食べ物を伝え合おう。 ・好きな日本の食べ物について尋ね合う。	○			行動観察
3	日本の文化について紹介するための英語表現を知る。	◇日本の好きなものを伝え合おう。 ・日本でできることについて紹介する。	○			行動観察
4	おすすめの日本の文化や食べ物について尋ね合う。	◇相手の立場に立って、質問しよう。 ・相手のおすすめするものについて、質問する。		◎	◎	行動観察 振り返りシート
5	おすすめの日本の文化について伝え合う。	◇おすすめの日本のことを、より分かりやすく伝えよう。 ・質問し合うことで、簡単な語句や基本的な表現を使って伝え合う。		◎	◎	行動観察 振り返りシート
6	おすすめの日本の文化について紹介する。	◇おすすめの日本の文化を紹介しよう。 ・前 ALT に向けてのビデオメッセージを作成する。	◎	◎	◎	行動観察 振り返りシート
7	日本の文化について紹介した内容を書く。	◇紹介したことを書こう。 ・話した内容を4線のシートに書く。		○	○	ワークシート

(5) 本時の指導「Welcome to Japan.」(5/7時間)

① ねらい 日本の行事や食べ物などについて、簡単な語句や基本的表現を用いて伝え合う。

② 本時の評価規準

評価の観点	話すこと(やり取り)【思判表】
評価規準	日本の文化を紹介するために、簡単な語句や基本的表現を用いて、伝え合っている。
評価方法	授業内：行動観察 授業後：振り返りシート

③ 本時の展開

過程	学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点、評価等	
導入	1 あいさつ・ルール	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Do you like ...? Do you like ...? Do you like ...? You can eat/enjoy I like It's </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ FT&JTE と児童のやり取りを経て、児童同士のやり取りにつなげる。 ・ 単元の Final Activity や本時の Main Activity につながるような言語材料を選択する。 	
	2 Small Talk おすすめの日本の食べ物について話す。			めあて おすすめの日本のことを、相手に分かりやすく伝えよう。
展開	3 Teacher's Talk 日本の文化について紹介する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Do you like ...? Can you ...? Do you like/know ...? You can see/enjoy/buy You can relax/make/try.... I like It's I want to try it! Let's try! </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk での表現を生かしながら話すモデルとして行う。 ・ 児童の言葉を取り上げて、どのように表現できるのかを想起させる。 ・ 話すときに困ったことなどを全体で共有することで、後半のペアトークに生かす。 	
	4 Let's Think おすすめの日本文化についてどのように伝えるか考える。			<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような表現ができるか考えながら、既習表現を使って話す。 ・ お互いにどう話すとよいかアドバイスを伝える。 ・ 相手の話を聞いて、自分もやってみたくになったらその気持ちを伝える。
	5 Let's Talk おすすめの日本の文化について話す。 (1) ペアトーク① (2) 中間指導 (3) ペアトーク②			
まとめ	6 Wrap up		<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童とやり取りしながらまとめる。 	
	まとめ Do you like...?や Can you ...?などを使って、わかりやすく伝えることができる。			
	7 振り返り			
	振り返り Do you like...?などを使うと、イメージがわいて前よりもやってみみたい気持ちになった。など			
	8 次時の予告			

思 日本の文化を紹介するために、簡単な語句や基本的表現を用いて伝え合っている。(行動観察)



VI 成果と課題

1 成果

- (1) 名前の言い方、天気の見し方、曜日や気分の言い方など、身近な事柄に関する英語表現を繰り返し聞いたり言ったりすることで、積極的に発話したり簡単な質問に答えたりする児童が増えた。
- (2) ゲームやペア学習を通して、基本的な表現に慣れ親しむことができた。これらの表現を使って、自分の考えを伝えることができた。
- (3) 身に付けた基本的な英語表現や既習表現を使って、話したり聞いたりすることができる児童が増えた。単元を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることで、主体的に自分の考えや気持ちを伝えようとする児童が増えてきた。

2 課題 (改善策)

- (1) 英語を正確に言おうとすることに意識が向いてコミュニケーション自体を楽しむことができず、英語を使って話すことに苦手意識をもつ児童がいる。互いに伝え合うことの楽しさを実感できるよう、相手意識や目的意識を高める学習内容や指導方法を工夫する。
- (2) 自分の考えや気持ちを表現することに苦手意識を持つ児童がいる。取り上げている話題に対してどのように考えるとよいか、Small Talk や Let's Talk などでのやり取りを通して、思考の仕方を指導する。